

## 28 堀小〔6〕学年・学級 経営プラン

### ◆学年目標

◎自らの学びを大切にする子

○最後までやりぬく子

○思いやりをもって人を大切にする子

### ◆学年経営（学校経営計画を受けて学年・専科として重点にしていこうこと）

#### 〔方針〕

- ・学ぶことが楽しいと感じる気持ちを育む。
- ・やりぬいた後の達成感の喜びを知ることができるような体験・経験をさせ、心の成長を促す。
- ・人とのコミュニケーションを図りながら、調和のとれた人間関係を築くことができる環境作りを大切にする。

#### 〔重点的な取組〕

- ・苦手な学習を克服しようと前向きに取り組む気持ちを大切にして、理解を深める授業作りを行う。そこに、自分の考えをもつことにより、いろいろな考えと比べて、その良さに気付くこと。また、家庭学習の充実をはかる。
- ・達成感を大切にするには、辛いことにも立ち向かう自己を制御する精神力も必要となる。その気持ちに寄り添いながら、指導にあたっていく。
- ・自分のためだけでなく、互いに認め合い、人のために貢献できることに喜びを見出す声かけをする。そして、学年が一体となり、卒業へ向かう。

### ◆学級経営（学級づくりの方針・特に大事にすること・配慮すること）

1組	2組	3組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学ぶことの大切さを知り、苦手なことを克服しようとする気持ちを育てる。そのため、教科同士の繋がりを考えて、授業を行う。苦手な教科を固定させず、単元に絞って取り組むことができるように、個々の把握を大切にする。</li> <li>・長縄への取り組みを通して、協力することの大切さ、そしてやりぬいた後の達成感を感じられるように、自己を制御し、何事にも前向きに取り組もうとする気持ちを育む。</li> <li>・固定された友達に依存することなく、男女問わずコミュニケーションを取れるような環境作りをする。また、様々な考えの友達がいることを知り、場や状況に合わせて、クラスでまとまって行動できるような力を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の個性を認め合える学級経営を行うために、自分とは異なる考え方でも受け入れられる心を育てていく。そのために、ペア学習やグループ活動を積極的に取り入れ、お互いの考えを伝え合う活動や友達と協力して物事に取り組む場を設ける。</li> <li>・継続的な長縄への取り組みを通して、仲間と協力することや目標に向かって努力することの大切さを実感させる。また、設定した記録を達成することで、自己肯定感を高めていく。</li> <li>・学ぶことの楽しさを感じる気持ちを育む。子供が興味関心や必要感をもてるような導入により、児童自らが主体的に取り組む姿勢を育てる。また、自分の得意な教科と関連させることで、苦手意識を克服できるよう指導していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎基本の定着と学力の向上、児童が「もっと知りたくなる授業」を目指す。授業を通して、よりよい学級経営を行う。</li> <li>・連合運動会に向けた長縄跳びへの取り組みを継続することで、努力や仲間と協力することの大切さを感じさせる。また、学級としての一体感を高め、よりよい学習集団を形成する。</li> <li>・男女問わず優しい言葉かけができる学級づくりを目指す。お互いの個性を認め合い、自己肯定感を高めていく。</li> <li>・規範意識を高めさせる。特に時間を守ることを重点とする。また自主・自律を目標とし、自分自身で判断し行動できるように指導する。</li> </ul>